

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア新大阪教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月22日（日）
自己評価総括の担当者	畠山、加納、寺口

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	46	50
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	2	8

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること
※より強化・充実を図ることが期待されること

「7. 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。」が95.7%と高い数値になっており、適切な支援を行うという点が強み。
「13. 日頃からお子さまの状況を保護者さまと共有し、お子さまの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。」
「14. 定期的に、保護者さまに対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。」の数値が高く、保護者へのフィードバックが丁寧に行われている点、相談しやすい関係作り、環境になっている点が強み。

事業所の弱み（※）だと思われること
※事業所の課題や改善が必要だと思われること

「15. 父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護者さま同士の連携が支援されていますか。」の項目の数値が低く課題だと思われる。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等

小集団の中でも2人～3人の小グループに分かれる機会を設けることでお子さまの支援計画に沿った支援を行う機会を担保することができている。
親御さまによってフィードバックを行う環境を変えたり、フィードバックを行う順番を変えたりしている。

事業所として考えている課題の要因等

今期、グループペアレントトレーニングは実施していたが、座談会などの実施はできていなかった。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

日々の支援の振り返りを目標の進捗と共に確認できる仕組みを整える。
必要に応じて家族支援を提供したり、声を掛けたりすることができるようにしていく。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

来年度はグループペアレントトレーニングに加えて、お子さま、保護者さまのニーズを汲み取り座談会などの実施も検討していく。